

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2007～2008年度 国際ロータリー ウィルフレッドJ.ウィルキンソン会長テーマ

ROTARY SHARES ロータリーは分かちあいの心

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 橋本恭典
幹事 鈴木文三郎
会報委員長 酒部正博

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2597回例会プログラム

[当年度=39回目；当月=3週目]

2008年（平成20年）6月16日（月）

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉
- 12:28 1. チャイム
- 12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱
……それこそロータリー
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事
- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 退会会員挨拶……中村 道彦 会員
9. 幹事報告
10. 出席報告
11. 委員会報告
12. ニコニコボックス報告
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(6/23) …… クラブ協議会
現理事挨拶
(6/30) …… 夕食例会(親睦活動委員会)
17:30～
刈谷商工会議所2階ホール
- 13:00 14. 本日のプログラム
新入会員アワー
深谷 嘉英 会員
水野 宏幸 会員
15. 謝辞
16. 点鐘………〈会長〉
17. 閉会宣言
- 13:30 18. 散会

ビ ジ タ ー

知立 RC 加藤 量平 様

出 席

会員総数 92名 出席免除 20名
出席義務者+免除者の内例会出席者 85名
欠席 8名 出席率 90.59%
前々回(6/2)の修正出席率 100%

幹 事 報 告

- 1) 6月10日付で、御友重孝会員、横内則之会員が退会されましたので、会員数は92名になります。
- 2) 野村重彦会員から近況報告がFAXでありました。4月5日から客船飛鳥Ⅱで世界一周の旅をご夫妻でされてみえます。6月9日にはニューヨーク港に着かれ、ニューヨークRCの例会に出席されたそうです。ご夫妻ともお元気で、7月15日帰国予定だそうです。詳しくはウィークリーに掲載させていただきます。

野村重彦会員 近況報告

会員の皆様には、ご健勝にて、ご活躍の事と存じます。長らく会務、例会を欠席いたしておりますが、私は家内共々元気に旅を続けております。

去る4月5日、客船“飛鳥Ⅱ”にて、北回り世界一周に旅立ちました。横浜を出航以来66日目に、36,490キロ航海し、6月9日、米国ニューヨーク港に入港いたしました。

幸いな事に、当日正午(12時15分開会)より、ニューヨークロータリークラブの例会に出席いたしました。

ニューヨークロータリークラブは、1909年創立の古いクラブで現在、男性130名、女性30名が在籍し、会長はキャミロ・T・ウィというアジア系との事です。

点鐘、国歌、お祈りに始まり、1時間30分程の間

に食事、ビジター紹介、卓話、等が温かい雰囲気の中で進められ、卓話に“エイズの危機とロータリーの取り組みについて”大変熱気のあるもので質問も多数あり驚きました。

当日、メーキャップのゲストはアメリカ人、カナダ人、ヨーロッパ人2名と、私共飛鳥Ⅱ乗船のロータリアン12名と家族、合計40名程で会場は、マンハッタン中央の“ハーバードクラブ”という格式のある所でした。

私も、刈谷 RC のバナーを持参して交換し、在籍している日本人会員5名及び会長がアジア系であり、大変親睦感あふれる例会出席となりました。

この後、2つ程の港を経由し、パナマ運河より太平洋に出て、日本に7月15日に帰ります。

皆様にお目に掛かれる日を楽しみにしております。

時節柄、十分ご自愛の上、ご活躍を祈念しております。

飛鳥Ⅱ船上にて
野村 重彦

退会会員挨拶



中村 道彦 会員

会長あいさつ

橋本 恭典



昨日一昨日と仕事仲間とのバス旅行で、高野山に行ってきました。ここ刈谷からは直線距離では大阪と大差ないのですが、16人のツアーで初めて行かれた方が12名と距離の割りに旅行の時間が掛かり、これまでに行かれた人が少ないような気がしました。

そういう私も初めてで高野山に対する予備知識が無いまま、線香臭いところへの旅行だと思ひ込み、足取りもあまり軽やかでなく行きました。たまたま昨日は弘法大師の誕生日を祝うための青葉祭という祭りの日でもありましたので、たいそうな賑わいでした。

本日の話題にと考え、ガイドさんの言われることを一生懸命聞いてまいりましたのでご報告します。

高野山は平安時代819年に弘法大師（空海）が開山した真言宗の聖地で、標高900mの山上に総本山金剛峯寺（こんごうぶじ）があり、山内には117の寺院があっ

て、2004年には「紀伊山地の霊場と参詣道」としてユネスコの世界遺産にも登録されています。明治になって初めて女人禁制が解かれましたが、それ以前は女性のために、高野山入り口7箇所には女人堂が建てられていました。

山の総門であり国の重要文化財でもある大門から奥の院の大師廟まで約4 kmあり、始めの2 kmはお寺がずらりと並び後の2 kmは全く違った様相で杉の巨木とおびただしい数の墓石で埋め尽くされ聖地というのか、霊地と感じました。

高野山には日本の国宝の2%があるようで、(1,073件中、23件)又、宗派を超えたあらゆる人々の墓碑や供養塔が50万基、そのうち江戸時代以前のものが20万基もあるそうです。

総本山で座主（管長）が住む場所である金剛峯寺は、高野山全体の宗務、寺務を掌っております。元は秀吉の建立した青巖寺で初めは山内における一つの子院でしたが明治初年に金剛峯寺と改称され、一山を代表する寺院となりました。今の建物は1893年に再興されたものですが、主殿は、東西30間南北35間の大建築で、その他に書院、奥院、別殿など十数か所に及ぶ建物が連なっております。豊臣秀次自刃の間も再建されておりました。境内で特に目に付くのは外堀の中にある「マキ」の森林の見事なこと、日本最大の石庭もありました。マキの葉は保水力が高く防火林の役目を果たすそうです。

弘法大師の御廟である奥の院へは一之橋から約2 kmの道のりですが、ガイドの説明を聞きながら、参道両側にある石碑の文字を眺めておきますと、平安時代以降の歴史が集約されているような感じがします。なかでも江戸時代には、戦乱がなくなって、財力を消費させるため、勢力のあった外様大名のお墓が特に立派なものになっております。お墓の巨石は多くが四国や瀬戸内から運ばれ、製作や運搬には高額な費用を要したと思われる。大きなものは中がくりぬかれ軽くして運ばれていたそうです。目に付いたお墓を申し上げれば、曾我兄弟、平敦盛、上杉謙信、武田信玄、伊達正宗、石田三成、明智光秀、一番大きなものは、駿河大納言忠長の母の墓で「一番石」と呼ばれております。高さ6.6m、台石は8畳あります。紀州藩主の浅野幸長の墓が「二番石」前田利家の墓が「三番石」と言われております。浅野内匠頭、織田信長、秀吉、淀君など豊臣家の墓もあります。また秀吉の命による朝鮮に軍を進めた時の「高麗陣敵味方供養碑」などもあります。墓石の多くは五輪塔形式になっており下のほうから「地、水、火、風、空」の5つの名があります。形は下がさいころで次が球形、その上に屋根の形、上にお団子2個を載せたような形です。以上の挨拶のためガイドさんの話を一生懸命聞いたあと、帰りに「姿見の井戸」を覗きました。この井戸は自分の影が写らないと早く死ぬというのです。くたびれていた事と、薄暗いところに私の目が弱いことが重なり、写っているようには見えなかったのですが、あと2回で済む今年度中はまず大丈夫だろうと申し上げ挨拶とします。

新人会員アワー

深谷皮フ科 院長 深谷 嘉英 会員



昨年の12月に刈谷ロータリークラブに入会させて頂きました、刈谷市高倉町で皮膚科を開業しています深谷です。

刈谷市高津波町に生まれ、育ちました。

昭和58年に名古屋保健衛生大学を卒業後、名古屋の社会保険中京病院で2年間の研修医生活、保健衛生大学大学院を終了、保健衛生大学の助手を経て、平成4年12月に刈谷市高倉町で、現在の皮膚科医院を開業しました。

研修医時代の2年間、中京病院の熱傷センターなどで研修をしましたが、多分300例以上の火傷の植皮術に助手としてつかせて頂き、とても良い研修をさせて頂きました。

その後の大学院以降も、臨床では皮膚外科の分野で主に働いてきました。その時からのご縁で、代務として派遣されていた碧南市民病院に、現在も週に一度、木曜日に外来診療および手術に後輩指導を兼ねて行っております。

また、平成11年から大曽根の社会保険支払基金に、月に7日間、昼の診療時間の合間にレセプト審査に行っています。

最近では、2～3割のレセプトが電算化され、紙の審査からパソコンでの画面審査に移行しています。2年後にはほぼすべてが電算化され、更にインターネットなどでデータが電送される計画になっています。医療界も、遅ればせながら、電子化の波が押し寄せています。

今年の刈谷市の介護認定審査委員会では、次期塚本会長と同じ審査合議体になりましたが、ロータリー入会の時期と重なり、ご縁を感じています。

岡崎信用金庫 刈谷支店長 水野 宏幸 会員



昨年11月に刈谷支店へ赴任し、ロータリークラブへは12月より入会させて頂いた岡信の水野です。まずは自己紹介をさせて頂きます。昭和31年生まれ、当年(10年)取って42歳です(笑)。妻1人、子供(男)2人です。長男には昨年11月子供が

できましたので、嫁1人、孫1人が追加です。最近周りから「ジイジ」と呼ばれる様になり、ちょっと複雑な心境です。

私の産地ですが、ゴルフをされる方なら多分ご存じである塩河(しゅうが)カントリーのある塩河でとれ、3歳まで過ごしました。父が名古屋銀行協会へ勤務しまし

たので、名古屋の東区(遊び場は大曽根界限)で育ちました。小学校は名古屋ドームの隣にある矢田小学校、大曽根にある桜ヶ岡中学校、そして千種高校へ進学し、東京にある東洋大学(箱根駅伝でご存知か?)を卒業後、昭和53年岡崎信用金庫へ入庫、現在ちょうど30年を越えたところです。

支店経歴は、安田通、港、笠寺、中川、安田通(次長)、東郷、碧南中央(支店長)、大池町、瑞穂、そして現在の刈谷支店です。

無芸な私ですので、最近面白い本を読み、その本の中から少々皆様楽しんで頂きたいと紹介します(当クラブ坂先生の本からです)。

I 「迷子の両親」 迷子になった幼児と警察官の話

警察官：「お父さんの名前はなんというの？」

幼児：「ねえ、あなた というの」

警察官：「ではお母さんの名前は？」

幼児：「おい、お前 っていうの」

II 「内助の功」 クリントン大統領とヒラリーの会話

(2人でドライブに出掛けた)

ヒラリー：「あのガソリンスタンドのご主人、昔、私の恋人だったのよ」

クリントン：「彼と結婚していたら、今頃君は給油の手伝いをしていただろう！」

ヒラリー：「何言ってるの！ もし、私が彼と結婚していたら彼が大統領よ！」

III 「良い質問」 幼稚園児が警察署を見学して指名手配犯の写真を見た時の話

園児：「これって、本当に犯人の写真なの？」

警察官：「そうだよ！」

園児：「ふ～ん」 納得のいかない顔で言った。

園児：「なぜ捕まえておかなかったの？ この写真を撮った時に！」

「世界のジョーク」を披露しました。

終わりに、最近、私の支店で起こった事件を皆様にご報告いたします。本日お配りした小冊子の裏面をご覧ください。「振り込め詐欺」防止で刈谷警察署長様より感謝状を頂いた時のワンカットです(4/30中日新聞にも掲載されました)。私が刈谷ロータリークラブに入会させて頂いていたからこそ、未然に防げたと思います。豊田自動織機の御友様には本当に感謝し、ロータリークラブへ入会させて頂いたことにも感謝しております。

今後とも末永いお付き合いを心よりお願いし、本日の挨拶といたします。